

ご案内

お申し込み前に必ずお読み下さい。



お申込みいただく際は、お手数ですが、お電話、ファックス、あるいは、メールにてご連絡をお願いいたします。
お申し込みのご連絡をいただきました方には、お申込書と取扱条件説明書と必要書類をご郵送申し上げます。
書類到着後に、ご旅行条件等を確認の上、お申込書をお送りいただきたくお願いいたします。
この際もファックス、あるいはメール、又は、ご郵送でお送りくださいますようお願い申し上げます。
また、併せて、おひとり様5万円のお申込金(ご旅行代金の内金)を下記の口座にお送りくださいますようお願い申し上げます。

***お申込書とお申込金到着をもって正式なお申込みとなります。何卒宜しくお願い申し上げます。**

▶ ご旅行条件 (要約)

●募集型企画旅行規約

この旅行は(株)タビーズ(以下「当社」)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加するお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」)を締結し、(株)ユーラストラベルが問合・申込みを受け付けます。
条件は下記他、別途旅行条件書(全文)、出発前にお渡しする最終旅行日程表・確定書面及び当社旅行契約募集型企画旅行契約の部によります。

●旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は2024年1月10日を基準としています。また、この旅行代金は2024年1月10日現在の有効なものとして公示されている運賃・規則、又は2024年1月10日現在認可申請中の航空運賃・適用規則を基準として算出しています。

●旅行契約の解除

最小催行人数に達しなかった場合、旅行は中止することがあります。
この場合は、出発の23日前(ピーク時は33日前)までにお知らせします。

●取消料

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、下記の金額を取消料として申し受けます(お一人様)。

旅行契約の解除の時期	取消料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目に 当たる日以降～31日目 【ピーク時】4/27～5/6、7/20～8/31、12/20～1/7に開始する旅行	旅行代金の20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって7日目に当たる日以降	旅行代金の30%
旅行開始日の前々日以降	旅行代金の50%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の100%

*オプション・ツアー代金も上記取消料に準じます。

*賞証(ビザ)取得費代金、渡航手数料は、そのまま申し受けます。

▶ 申込方法

- ① ***お申込書**にもれなくご記入頂き、**旅行社宛にメール、FAX、郵送にてお送り下さい。**
***直接お電話あるいはメールにてのお問合せ・申込み希望のご連絡でも受付いたします。**
 *当社ホームページ (<http://www.euras.co.jp>) からでも直接「正式申込書」にご記入→添付してメール/FAX可
- ② 直接のご連絡後、正式申込書と取引条件説明書、必要書類をお送りいたします。
 書類到着後に条件をご確認頂き、申込書をお送りの上で**申込金 50,000円**(旅行費用内金)を以下の指定口座へ**お振込み**ください。
***正式申込書と申込金の到着をもって正式申込みとなります。**

- 口座名義：(株)ユーラストラベル ●郵便振替口座：ゆうちょ銀行 記号番号 00180-8-265002(0一九九店 265002)
 ●銀行口座：みずほ銀行 神谷町支店(普通) 口座番号：1370507

*領収書は、銀行あるいは郵便局が発行する明細書をもって替えさせていただきます。

東京都知事登録旅行業3-6973号 日本旅行業協会正会員

ユーラツアーズ

〒108-0023 東京都港区芝浦3-17-11 天翔田町オフィス206号

●営業時間：月～金曜日/10:00～17:00(休業日：土・日曜・祭日)

株式会社ユーラストラベル 総合旅行業取扱管理者：滝澤泰斗

☎03-6453-6633 FAX 03-6453-6630

●メール：y.takizawa@euras.co.jp

●ホームページ：<http://www.euras.co.jp>

観光庁長官登録旅行業1906号 日本旅行業協会正会員

株式会社タビーズ

〒105-0013 東京都港区浜松町2-2-14 K1ビル802号

中央アジアシルクロード合唱交流の旅 (セミパラチンスクとタシケント)

基本型 (カザフスタン 5日間)

2024年7月9日(火)～7月13日(土) 5日間

延長型 (ウズベキスタンプラス)

2024年7月9日(火)～7月18日(木) 10日間

旅のご案内

今は亡きなかにし礼さんと佐藤しのぶさんのお二人の「核兵器のない世界を」という遺志を携え、旧ソ連時代に456回もの核実験が行われ甚大な被害が出たカザフスタンのセミパラチンスクに赴いて現地の合唱団と高らかに歌の交流をして参りました。その模様は“うたごえ新聞”や中日新聞、東京新聞にも大きく取り上げていただき大きな反響を呼びました。その時のセメイ市長さんが「これを契機に大きな平和のイベントにしてゆきたい」と、高らかに宣言してくださいました。今回で2度目になりますが、より大きなイベントへの第一歩にし、更に、多くの文明が行き来し、とりわけ、日本にはもたらされた仏教伝来の道でもあるシルクロードに足を延ばし、タシケントの若者とも合唱交流を行います。サポーターの方も大歓迎です。この素晴らしいイベントにご参加ください。

▶ ご旅行要項

●旅行代金に含まれるもの (一部例示)

- ・現地集合の場所から現地解散の場所までの運賃
- ・宿泊料金：2人部屋基準、税・サービス料、入湯税
- ・食事代：旅程に表記のものを
- ・添乗員同行の経費(同行と明示した場合)
- ・旅程に明示した市内(郊外)見学のガイド料、入場料、チップ

●旅行代金に含まれないもの (一部例示)

- ・旅程以外に行動される場合の交通費、宿泊費、飲食費等
- ・個人的費用：電話、電報、FAX、クリーニング代、追加飲食費用
- ・お一人部屋追加料金(相部屋の方がいない場合も同様)
- ・現地集合場所までと現地解散後の交通費
- ・任意の国内旅行損害保険料

●時間帯の目安

およそ以下の通りです。航空機、バス等の移動時刻をもとにした目安です。
実際の時刻とは異なる場合がありますので、予めご了承ください。

出発	到着	出発	到着	出発	到着	出発	到着
04:00	05:00	08:00	12:00	17:00	19:00	23:00	04:00





中央アジアシルクロード合唱交流の旅 (セミパラチンスクとタシケント)

ご旅行期間: 2024年7月9日(火) ~ 7月18日(木) 10日間

ご旅行代金: 基本型 (カザフスタン5日間): 成田、関空、福岡発着共にお一人様 ¥318,000円 (2名1室の場合のお一人様の代金)

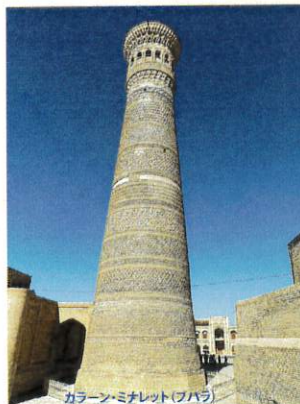
ご旅行代金: 延長型 (ウズベキスタンプラス): お一人様: 上記にプラス ¥179,000円 (2名1室の場合のお一人様の代金)

- 基本型の旅行代金に含まれる主なもの
- ・国際線航空運賃及びカザフスタン国内線
 - ・募集パンフレットに記載された宿泊費
 - ・募集パンフレットに記載された食事代
 - ・空港やホテル間の送迎車及び都市間の移動観光時の車代
 - ・観光時のガイド代、入場料、チップなど

- 基本型の旅行代金に含まれない主なもの
- ・旅程以外の交通費、宿泊費、飲食費など
 - ・渡航手続き費用
 - ・空港施設使用料、航空保安料
 - ・成田発 ¥2,660円、¥2,000円
 - ・関空発 ¥3,100円、¥2,000円
 - ・福岡発 ¥980円、¥2,000円
 - ・燃油サーチャージ、現地空港税
 - ・成田発 ¥45,000円、関空発 ¥45,090円、福岡発 ¥42,970円
 - ・お一人部屋追加料金 ¥35,000円
 - ・オプションツアー代金

- 延長型の旅行代金に含まれる主なもの
- ・アルマトィ→タシケント間の航空券代
 - ・募集パンフレットに記載された宿泊費
 - ・募集パンフレットに記載された食事代
 - ・観光時のバス代
 - ・移動の列車代など

- 延長型の旅行代金に含まれない主なもの
- ・旅程以外の交通費、宿泊費、飲食費など
 - ・渡航手続き費用
 - ・空港施設使用料、航空保安料など
 - ・燃油サーチャージ、現地空港税
 - ・お一人部屋追加料金 ¥29,000円



カラーン・ミナレット(ブハラ)



日付	都市	時刻	乗り物	日程	食事
1日目 7/9 火	成田発 仁川着 仁川発 アルマトィ着	13:20 15:50 18:05 21:40	OZ101 OZ577	成田、関空、福岡より空路仁川へ。 仁川で合流後、空路、カザフスタンの玄関口アルマトィへ。 着後、専用車でホテルへ。 【カソールホテルまたは同等クラスホテル泊】	機内○
2日目 7/10 水	アルマトィ発 セメイ着	12:20 13:55	KC7151	午前、アルマトィの中心をパノラマ観光しながら空港へ。 アスタナ航空でセメイへ。 着後、専用車でセメイ市長官邸と南側所管閣 【ツララン・セメイ・グランドホテルまたは同等クラス泊】	朝○ 昼○ 夕○
3日目 7/11 木	セメイ滞在			午前: 合唱レッスン 午後: 合唱発表会と交流会 【ツララン・セメイ・グランドホテルまたは同等クラス泊】	朝○ 昼○ 夕○
4日目 7/12 金	セメイ発 アルマトィ アルマトィ発 タシケント着	14:25 16:15 22:15 22:50	KC7152 HY764	午前、セメイ市内観光して、空路、アルマトィへ。 アルマトィ着後、レストランで夕食を取った後、空路、ウズベキスタンの首都 タシケントへ。 着後、専用車でホテルへ。 ※基本型にご参加の方はアルマトィで夕食をお取りいただいた後、 アジア航空便にて、帰国の途へ。 【インターナショナルホテルまたは同等クラス泊】	朝○ 昼○ 夕○
5日目 7/13 土	タシケント発 フハラ着	7:28 11:17	777777 特急	朝、アフラシア号特急でフハラへ。 ※帰国の方は仁川で航空機を 着後、フハラ市内観光。 ミル・アラフ・フンドレツェ、アルク、カラマン・ミナレット、 イスマイル・サマニッドなど 【リャフ・ハウス・ホテルまたは同等クラス泊】	朝BOX 昼○ 夕○
6日目 7/14 日	フハラ発 サマルカンド着	5:37 8:10	列車 744号	早朝、急行列車でサマルカンドへ。 着後、朝食を取った後、サマルカンド市内観光へ。 2日間にかけて、サマルカンドを観光します。主な見どころは、 レギスタン広場、シャーヒーズ・イムダナ、ビビ・ガムイル・モスク、 ジョブ・バザール等 【モザイク・ブティックホテルまたは同等クラス泊】	朝○ 昼○ 夕○
7日目 7/15 月	サマルカンド滞在			午前、前日に引き続きサマルカンド市内観光。 昼食後、自由行動。 【モザイク・ブティックホテルまたは同等クラス泊】	朝○ 昼○ 夕○
8日目 7/16 火	サマルカンド発 タシケント	8:59 11:12	777777号	午前、列車でタシケントへ。 昼食後、タシケント市内観光。 日本人墓地訪問、蘇花、ナフョイ劇場を外側から、ウズベキスタン 国立博物館等、夕刻、ホテルバントにて合唱レッスン。 【インターナショナルホテルまたは同等クラス泊】	朝○ 昼○ 夕○
9日目 7/17 水	タシケント滞在		専用車	午前、ホテルまたはピアノのある会場で合唱練習 昼食後、タシケントの音楽大学との合唱交流を予定しています。 夕刻、ロー・カルレストランで夕食を取り、一路、仁川へ向け、出発 【市内泊】	朝○ 昼○ 夕○
10日目 7/18 木	仁川着 仁川発 成田着	8:15 15:10 17:20	OZ106	仁川で解散をして、成田の空港からの便で帰国の途へ。 ※この日程は成田発着で作成しましたが、前日同様、関空発着、福岡発着 【この日程は成田発着で作成しましたが、前日同様、関空発着、福岡発着	朝○ 昼○ 夕○

※上記日程は交通機関の時刻変更・遅延及び受け入れ機関の都合などの影響により変更される場合があります



親愛なる日本の皆さん
私は昨年に引き続きセメイで平和
の歌の交流が行われることを大変
うれしく思います。
皆様を大歓迎するとともに、この
イベントが発展的に続くことを
祈っています。
カザフスタン セメイ市長
Zhanbybek Mukataev



高田龍治(たかた りょうじ)氏 プロフィール
1972年、国鉄広島ナッパース、広島合唱団に加わり、指揮・
伴奏・作曲などを担当する。
1980年、組曲「俺たちのシルクロード」の制作に参加、全国
上演の指揮を担当。
これまで障害者運動や平和運動に関わり、作曲を中心に
様々なコンサート企画を手がける。
また、ロシア・中国・韓国・アメリカ・スペイン等でのコンサート
では指揮やアコーディオン奏者を務める。
現在、広島合唱団などの合唱団を指揮。
日本のうたこえ全国協議会常任委員。
国鉄のうたこえ音楽監督、音楽センターひろしま代表取締役、
広島のうたこえ協議会会長。
作曲作品としては「俺たちのシルクロード」「みんな元気か」
「風花」「ねがい」「町」などがよく知られている。

カザフスタン



セメイの町並み

セメイ(旧名セミパラチンスク)

1949年ソビエト政府はセメイの西方150kmの草原地帯に核実験場を
造り、通算456回の核実験が行われたため、長い間、放射能汚染に
苦しめられてきた。そして、その健康被害に耐えきれなくなったのが
同じ被爆都市だった広島で、広島一セミパラチンスク・プロジェクトを
立ち上げ、支援と交流を続けてきました。また、この町は2006年に
中央アジア5カ国(カザフスタン、キルギスタン、タジキスタン、トルクメニスタン、
そして、ウズベキスタン)は中央アジア非核兵器地帯条約を結びました。



アルマトィ教会

アルマトィ(旧アルマター)

旧名のアルマター(りんごの父の意)はソビエト時代に呼ばれていた
カザフスタンの首都でした。たいいていの外国の航空機はこのアルマ
ティに発着している通り、首都はアスタナに移りましたが、経済、商業
の中心に変わりはありません。

ウズベキスタン



レギスタン広場

サマルカンド

歴史の登壇するのは紀元前10世紀にイラン系のオアシス都市として以来、
中央アジアの長い歴史の中心的な役割を担ってきた。中でも14世紀~15
世紀にユーラシア大陸を席巻したティムールの都の面影が、町のいたる
ところに残り、シルクロード観光に欠かすことのできない都市だ。町の中心に
あるレギスタン広場には三つのモリサ(イスラム教の学校)の青いタイルが
一際、異彩を放っている。現在、タシケントからサマルカンド、ブハラまで、
アフラシア号という特急電車が走りシルクロード観光に一役買っている。



カラマン・ミナレット

ブハラ

サマルカンドと並び、ウズベキスタンを代表するシルクロードのオアシス
都市のひとつ。1991年、ロシアから独立して以来、観光に力を入れ、様々
な観光名所を整備した。ソ連時代は、ロシアが荷駄を引き、シルクロードの
面影を色濃く残していたが、その整備が文字通り美しく整い過ぎて、古き
良きブハラを懐かしむ人が多くなっているが、喧嘩と雑踏が消えたため、
観光しやすくなったのも事実だ。